

今週のモーニングセミナー報告

令和4年11月16日（水）の講話 <第918回>

テーマ：事業承継5年。「仕事」について考えたこと

講師：香川県さぬき市倫理法人会 幹事 (株)アオキ 代表取締役 青木 一恵 様

「昨日パソコンのトラブルがありまして、紙芝居みたいで申し訳ないのですが」パソコンのディスプレイを演台に置いて話し始める。三本松の国道沿で父がパチンコ店を営みその向かいに「イレブン」という喫茶店を母が営んでいた、住まいはそのお店の2階でした。その後母は化粧品のセールスから父の手伝いへと替わった。父のパチンコ業は徐々に大きくなり別棟の倉庫に積まれたたくさんの台があった。学校から帰るとよくそこで遊んでいた。高校生になったころには同級生たちにパチンコのよく出る台の事を尋ねられたり、アルバイトに来てもらったりしていた。業界が上向いていた時代で家では夜遅くまで飲んでおられる人たちが来ていた、母もその為に遅くまで食事を提供していた。小さい頃登校する時には両親は寝ていたので起こさないようにして出て行っていた。パチンコという特殊な仕事、父親は怒り出すと何をするかわからない恐ろしい、古馬場でも暴れん坊の父親。私は心に闇を抱えた活発な子だった。欲しいものは手に入った。小学三年生の時、いい担任の先生に恵まれた。中学生の時はソフトボール部で失敗するとずっといじめられる先輩に会う。そのことから後輩にはいじめずに優しい先輩として接した。4人の子供の親、シングルマザー離婚経験あり。父親から10万円出すから名古屋で電話番をしてほしいといわれ、父の手伝いを始める。後に高松に帰って来てくれと。経理の仕事、総務の仕事。居心地はよかった。2016年の出玉規制、パチンコ業界は下降線をたどる。その時に父親が死亡。社長を継承して社員たちとの居心地の悪い環境、カオス状態を作っていた。その後母が会社を辞める。チマチマとしたことから証拠調べをして新規事業に集中できるようになった。中小企業家同友会でも学び、何で働いているのか？真剣に考え始める。インターンシップの高校生が来て、インタビューを受けた事。網さんの弟さんの仕事ぶりを見て素晴らしいと思いました。その他苦難ばかりに向かっていた、自分を見失っていた。働きが最上の喜びと結ばれた。紙芝居の映像はよく見えなかったが、内容はよく伝わってきました。また感想のコメントを富田さんと田太さんから貴重な意見を聞かせてもらったことも心に残りました。

担当者：赤山 芳隆

パチンコ、パチスロの機械をパチンコ店に販売する株式会社アオキの代表取締役青木さんの講話でした。学生時代は女子をいじめる男子に立ち向かっていく子供だった。現在4人の子供がいる、仕事は雇用のため、家族のため。最初は会社への関わりは本心ではないが居心地がいいと仕事をしていました。2016年の出玉規制、ファンの減少、パチンコ依存症、そしてコロナ禍で厳しい状態となった。2017年9月に父が急死したことにより代表取締役就任。父からの事業継承しての想い、葛藤。子供が非行に走ったりなど多くの苦難を乗り越えてきていると思いました。またインタビューの話がされ高校生が会社へ訪問してどんな想いで仕事しているか？について話され10代も40代も気持ちは同じだと話されました。私はパチンコ業界は華やかな業界だなあと感じていました。パチンコ店はネオンいつも輝いているからの印象かもしれません。しかし今回の講話で厳しい状態だと知りました。現場に誇りを持って働く社員、業界の方々。青木さんの講話勉強になりました。ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは11月30日（水）朝6:00~7:00 南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「50歳からの人生戦略」と題しまして香川県高松南倫理法人会 会員 (株)アカデミック 高松 代表取締役 赤池泰弘 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 21社 21名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp